

ディプロマ・ポリシー			カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って62単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、短期大学士（生活造形学）の学位を授与します。</p>			<p>本学科ではディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような学ぶ分野について、多様な方向からアプローチしていくとの方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>暮らしの中の「衣」と「住」におけるモノを形づくる基礎的な事柄を学ぶとともに、専門的な学習を通して、創造性と感性を磨くことができます。衣を中心に学ぶことができる「アパレルコース」、住宅のインテリアを中心に学ぶ「インテリアコース」の2コースに分かれた教育課程を編成します。</p> <p>学ぶ内容は、文系・理系・造形系に広く及びます。座学だけではなく、演習・実習・実験という主体的な学修方法を通して、ディプロマ・ポリシーを達成します。学んだ集大成としての選択必修科目である、卒業制作科目において、その達成度を評価します。</p> <p>「アパレルコース」 アパレルのデザインや性能、素材の品質を学び、衣服の機能性を高める知識と技術を身に付けることができます。創作活動を通して、時代に合った感性を磨きます。</p> <p>「インテリアコース」 住宅のインテリアを中心に、その環境やデザインについての知識や考え方を学び、理論と実習を通して色彩や内装計画、インテリアエレメントの使い方、設計方法など、創造性と感性を磨きます。</p>	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知識・理解             <ol style="list-style-type: none"> <li>①入学前には、国語、英語、数学、世界史、日本史、化学、生物といった科目を幅広く履修し、基礎知識を備えている人</li> <li>②入学後は、生活に関わる事象に対して、文化的、社会的、科学的、工学的、造形的な観点からの基礎的・専門的な知識を修得しようとする人</li> </ol> </li> <li>2. 技能・表現             <p>生活を構成する事象に対し、定量的、論理的、創造的なアプローチから学ぼうとする人</p> </li> <li>3. 思考・判断             <p>新たな課題に対し、論理的に考え、問題を解決しようとする人</p> </li> <li>4. 態度・志向性             <p>社会性を有し、他者と協調・協働して社会の発展に貢献する態度や、生涯にわたり自立して学び続けるための意欲や向上心を身につけようとする人</p> </li> </ol>
1. 知識・理解	1-1	生活に関わる事象に対して、文化的、社会的な観点からの専門的知識を有している。		
	1-2	快適で健全な生活を形作るための、科学的・工学的な観点からの専門知識を有している。		
	1-3	生活を豊かにするモノに対して、造形的な観点からの素養を身に付けている。		
2. 技能・表現	2-1	生活を構成する事象を定量的・論理的に分析し、問題の解決につなげることのできる技能を有している。		
	2-2	生活を構成する事象に対し、創造的なアプローチをし、表現する技能を有している。		
3. 思考・判断	3-1	新たな課題に対し、論理的に考え、問題を解決する能力を身に付けている。		
	3-2	新たな課題に対して、創造的能力と表現力を身に付けている。		
4. 態度・志向性	4-1	社会性を有し、他者と協調・協働して社会の発展に貢献する態度を身に付けている。		
	4-2	生涯にわたり、自立して学び続けるための意欲と向上心を身に付けている。		